

愛隣の風

愛隣園 基本理念



法律の専門家が、イエスを試そうとして尋ねた。「先生、法律の中で、どの掟が最も重要でしょうか。」

イエスは言われた。『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』

これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』
法律全体と預言者は、この二つの掟に基づいている。』
(マタイ伝二十二章三十五〜四十節)

愛隣園だより
第5号
発行責任者
迎田 浩二



5歳 男児作
「おさかな」

天高く馬肥ゆる秋

施設長 迎田浩二

「異常気象の言葉はもう無い」という言葉が、ニュースでも多く聞かれる程地球中の気象が変動しています。特に今年の夏は、危険なほどの暑さと言われるくらいの猛暑が続きました。また、ゲリラ豪雨、大水害、大地震等、国の激甚災害指定が出されるほどの災害が各地で発生しています。施設の災害対策も想定を見直す必要性を常に感じさせられる状況であります。

我が園の子ども達は、そういう状況の中に、自己管理をしっかり行ってくれ、職員サイドの支援もあり、若干の症状はありましたが、部活や野外活動も継続しつつ、元気に過ごすことが出来ました。ありがたいことでもあります。

秋分を迎え、朝夕は少し肌寒い位ですが、晴天の下、野外での活動には最高の時期の到来です。外で思い切り空気を吸って、思いっきり遊んで、沢山の秋の味覚を食べて欲しいものです。愛隣園のみかん、園庭の柿、銀杏たちも今か今かとみんなを待っています。



新入職員の紹介

～2名の職員が、新たに仲間になりました！～



初めまして。年度途中からですが、愛隣園でお世話になっております。荒川洋輔と申します。特別指導員という職種で、自分自身何をしたいのか探り探りの状態で、また、児童養護施設は初めてで慣れない事ばかりですが一生懸命頑張ります！宜しくお願いします！（写真左）

今年の9月から愛隣園（オレンジハウス）に勤めています興沼優平と申します。以前は知的障害の施設に勤めていました。児童養護施設は初めてですが、子ども達に信頼される職員になれる様、誠心誠意努めたいと思いますので宜しくお願いします。（写真右）

(H30年5月からH30年9月まで)

温かいご支援に感謝申し上げます

- | | | |
|-------------|-----------------|---------------|
| ミ・ルアール 様 | 愛隣荘入居者一同 様 | 永野公誠 様 |
| 愛隣の家入居者一同 様 | 山崎製パン 様 | 熊本ゼミナール 様 |
| 熊本善意銀行 様 | NPO 法人ふらっとホーム 様 | JA 鹿本園芸部 様 |
| 堂園亜衣 様 | 金城真奈美 様 | マルキン食品 様 |
| (有)エース薬局 様 | 生命保険協会熊本県協会 様 | 九州アイスクリーム協会 様 |
| 吉田竜也 様 | 松井精肉店 様 | 九州労働金庫 様 |

(順不同)

最後まで ひかり輝け 鶴城中



一九四七年開校の「山鹿市立鶴城中学校」は、平成三十一年三月末をもって閉校の運びとなりました。愛隣園の歩みと共に、子ども達が長年お世話になってきた中学校です。愛隣園と同じく山鹿市津留に在り、園から徒歩十分の距離にあります。年々生徒数が減少し、現在一年生は十八名(内、園から二名)、二年生は十一名(内、園から六名)、三年生は十九名(内、園から一名)、一年生は十一名(内、園から三名)が通っています。日頃より鶴城中学校の先生方には、園との情報交換会(年三回)をはじめ、日々、園職員との連携の中で子ども達を指導していただいております。来年度より鶴城中学校は、山鹿市内にある「山鹿市立山鹿中学校」へ統合となります。山鹿中学校は全校生徒六八九名の大きな学校です。子ども達は現在、山鹿中学校への統合に向けて交流授業に参加させていただいています。これまでに小規模な単位で暮らしてきた子ども達や園職員にとっては初めての大人数の環境。一クラスの人数が倍以上、学年の人数もこれまでの百倍を超える人数となり、適応できるだろうか…との不安もありつつ、子ども達は友人や部活動が増えることにワクワク、期待を込めた気持ちでおります。鶴城中学校の閉校式は、平成三十一年二月二十四日(日)に行われます。閉校記念事業として「最後までひかり輝け鶴城中」のスローガンのもと、看板が設置されました。また、山鹿湯の端美術会との共催で、卒業生の丸尾康弘さんの作品展がアートギャラリーで行われました。閉校まで残り半年を切りましたが、最後まで良い思い出をたくさん心に残せたらと思います。



子どもたちの行事&園内外の行事!

ホワイトハウス 中一年 女子

熊本県のグローバルバルジュニアドリム事業の一環で夏休みの八月三日〜七日の四泊五日間、台湾へ研修に行ってきました。事前研修会を通して一緒に行くメンバーとの交流や台湾の事について勉強し、実際に台湾で現地の子とも達との交流会や、ホームステイを通して台湾の歴史や文化に触れることができ、とてもいい体験をさせてもらえました。何よりも台湾のかき氷やタピオカがすごくおいしかったです。帰国後、事後報告会や学校での総合の時間などで発表させてもらい、みんなに知ってもらえたのも良かったです。この体験をきっかけにこれからも色々な事に興味を持ってチャレンジしたいです。



オレンジハウス 高二年 女子

私は今年の夏、熊本県主催の国際交流事業に参加し、中国の広西チワン族自治区に行ってきました。英語圏ではない場所でもホームステイするのは不安でしたが、ホストファミリーは身振り手振りで伝えてくれたり、お店でも店員さんが理解できない時は筆談にに応じてくれたり、思っていたより中国の方は優しく、礼儀正しく、自分の中で中国に対する偏見がなくなりました。元々興味があつたアジアの生活を体験できて、もっとアジア、中華圏の文化や言語を学びたいと思うようになりました。私はまだ具体的な目標がありませんが、大学で英語はもちろん中国語も頑張るつもりです、グローバルに活躍できる人材になりたいと思っています。



彦岳ハウス 中三年 女子

私は、中学校でソフトテニス部に入りながら陸上も頑張りました。陸上の練習はきついけれど、毎日暑い時や寒い時も友人と一緒に励まし合い、先生方からも厳しい中にも気づかせてくださる優しい言葉にたくさん励まされ三年間頑張ることができました。十月に山鹿市の陸上記録会も終わり十一月に山鹿市の駅伝大会があります。今まで頑張ってきたことを発揮できるように精一杯走りたいと思います。



グリーンハウス 中一年 男子

中学テニスの試合で、テニスを始めて三ヶ月の児童が大会三位入賞と言う素晴らしい成績を収めました。テニスの動きはまだまだきこなかったですが、持ち前の身体能力と諦めない心で勝ち取った結果だと思っています。部活が楽しいと毎日笑顔で話し、練習も真面目に取り組んでいる姿は我々職員も見習うべき姿だと感じています。来年は優勝を目指す本人も意気込んでるので、夢が叶うようサポートしていきたいと思っています。



レインボーハウス 中二年 男子

今年の七月から新チームのキャプテンに任命されたT・T君。ちゃんと出来るかなと、担当職員は心配していましたが、こちらの不安をよそに部活を休むことなくチームを牽引している姿や、試合の日には送迎をして下さる保護者を前にキャプテンとして挨拶をしている姿を見ると感動します。先日剣道の昇段試験が行われ、見事に初段合格。日頃の努力が報われました。これから先も、剣道で培った文武両道をモットーに頑張ってください。



入学式

四月十日、中学校、高校の入学式が行われました。愛隣園からは中学生男女一人ずつ、高校生女子一人が入学しました。中学生は、今までの小学校生活とは違い、慣れない事に苦戦しながらも、現在に至るまで部活や勉強に励んでいます。また、高校生は高校入学を機に、自分の習いたかったピアノを習い始め、ホームでも楽しそうに練習しています。また、四月二十七日に幼稚園の入園式が行われました。三月の終わりの頃から愛隣園に来てくれた二歳の女の子で、とても不安そうな表情を浮かべていましたが、現在は元気に登園してくれて、「おはよう」の挨拶やお歌も上手になってきました。



ソフトバンク招待観戦

九州労働金庫様にご招待頂いて、六月三日にソフトバンクホークスの試合観戦に、ヤフオクドームに行きました。子ども達も、球場の雰囲気や本物のプロ野球選手を見て、とても興奮していました。また、美味しい食べ放題付きで、お皿いっぱいそれぞれ好きなものをお腹いっぱい食べました。七回には、ソフトバンクホークス攻撃前の名物「ジェット風船飛ばし」もしました。テレビとは違った臨場感や一体感を、皆で楽しむことが出来ました。



合同キャンプ

七月二十四日〜二十七日に第五十九回合同キャンプが開催されました。地震の影響で三年ぶりの開催となり、初参加の子ども達や職員もいましたが、事前に訓練した成果を発揮し、本番は怪我、病気もなく無事にやり遂げました。キャンプでは、竹を材料に立釜戸を作成し食事を作り、風はクラフト作成やレクリエーション、夜は劇の練習や歌の練習と盛り上がりました。最後の夜のキャンプファイヤーでは子ども達が考えたオリジナルストーリーの劇を行い、会場を笑いの渦に巻き込んだのがとても印象に残りました。キャンプ終了後、子どもたちに感想を聞いてみると、きつかったけど楽しかった、もう一泊したいなど笑顔で話してくれました。普段、園の生活ではできない貴重な体験ができ、とても有意義な時間を過ごす事ができました。



チャレンジサマーキャンプ

八月十三日〜十五日までの二泊三日、国立阿蘇青少年交流の家にご招待いただき、『チャレンジサマーキャンプ』に参加させていただきました。三日間の体験の中で、園では体験できないツリーイングや、沢登りなど多くの体験ができ、職員、子どもたち共に良い思い出ができました。自分たちで作ったカレーライスは、とても美味しそうに完食していました。担当してくださった交流の家の職員の方々、ボランティアの方々、三日間ありがとうございました。



子ども達の社会性を育むために…
職場見学・職場体験のご支援を頂いています

(株)丸山ステンレス工業様	(株)美加川製作所様
(株)アルファシステム様	(株)ネクスト様
(株)ニフコ熊本山鹿工場様	(株)西益屋様
(株)フジクラプレジジョン様	山東子ども園様

ご支援に感謝申し上げます

きらきら輝いている子どもたち!

ホワイトハウス 中一年 女子

熊本県のグローバルバルジュニアドリム事業の一環で夏休みの八月三日〜七日の四泊五日間、台湾へ研修に行ってきました。事前研修会を通して一緒に行くメンバーとの交流や台湾の事について勉強し、実際に台湾で現地の子とも達との交流会や、ホームステイを通して台湾の歴史や文化に触れることができ、とてもいい体験をさせてもらえました。何よりも台湾のかき氷やタピオカがすごくおいしかったです。帰国後、事後報告会や学校での総合の時間などで発表させてもらい、みんなに知ってもらえたのも良かったです。この体験をきっかけにこれからも色々な事に興味を持ってチャレンジしたいです。



オレンジハウス 高二年 女子

私は今年の夏、熊本県主催の国際交流事業に参加し、中国の広西チワン族自治区に行ってきました。英語圏ではない場所でもホームステイするのは不安でしたが、ホストファミリーは身振り手振りで伝えてくれたり、お店でも店員さんが理解できない時は筆談にに応じてくれたり、思っていたより中国の方は優しく、礼儀正しく、自分の中で中国に対する偏見がなくなりました。元々興味があつたアジアの生活を体験できて、もっとアジア、中華圏の文化や言語を学びたいと思うようになりました。私はまだ具体的な目標がありませんが、大学で英語はもちろん中国語も頑張るつもりです、グローバルに活躍できる人材になりたいと思っています。



彦岳ハウス 中三年 女子

私は、中学校でソフトテニス部に入りながら陸上も頑張りました。陸上の練習はきついけれど、毎日暑い時や寒い時も友人と一緒に励まし合い、先生方からも厳しい中にも気づかせてくださる優しい言葉にたくさん励まされ三年間頑張ることができました。十月に山鹿市の陸上記録会も終わり十一月に山鹿市の駅伝大会があります。今まで頑張ってきたことを発揮できるように精一杯走りたいと思います。



グリーンハウス 中一年 男子

中学テニスの試合で、テニスを始めて三ヶ月の児童が大会三位入賞と言う素晴らしい成績を収めました。テニスの動きはまだまだきこなかったですが、持ち前の身体能力と諦めない心で勝ち取った結果だと思っています。部活が楽しいと毎日笑顔で話し、練習も真面目に取り組んでいる姿は我々職員も見習うべき姿だと感じています。来年は優勝を目指す本人も意気込んでるので、夢が叶うようサポートしていきたいと思っています。



レインボーハウス 中二年 男子

今年の七月から新チームのキャプテンに任命されたT・T君。ちゃんと出来るかなと、担当職員は心配していましたが、こちらの不安をよそに部活を休むことなくチームを牽引している姿や、試合の日には送迎をして下さる保護者を前にキャプテンとして挨拶をしている姿を見ると感動します。先日剣道の昇段試験が行われ、見事に初段合格。日頃の努力が報われました。これから先も、剣道で培った文武両道をモットーに頑張ってください。



入学式

四月十日、中学校、高校の入学式が行われました。愛隣園からは中学生男女一人ずつ、高校生女子一人が入学しました。中学生は、今までの小学校生活とは違い、慣れない事に苦戦しながらも、現在に至るまで部活や勉強に励んでいます。また、高校生は高校入学を機に、自分の習いたかったピアノを習い始め、ホームでも楽しそうに練習しています。また、四月二十七日に幼稚園の入園式が行われました。三月の終わりの頃から愛隣園に来てくれた二歳の女の子で、とても不安そうな表情を浮かべていましたが、現在は元気に登園してくれて、「おはよう」の挨拶やお歌も上手になってきました。



ソフトバンク招待観戦

九州労働金庫様にご招待頂いて、六月三日にソフトバンクホークスの試合観戦に、ヤフオクドームに行きました。子ども達も、球場の雰囲気や本物のプロ野球選手を見て、とても興奮していました。また、美味しい食べ放題付きで、お皿いっぱいそれぞれ好きなものをお腹いっぱい食べました。七回には、ソフトバンクホークス攻撃前の名物「ジェット風船飛ばし」もしました。テレビとは違った臨場感や一体感を、皆で楽しむことが出来ました。



合同キャンプ

七月二十四日〜二十七日に第五十九回合同キャンプが開催されました。地震の影響で三年ぶりの開催となり、初参加の子ども達や職員もいましたが、事前に訓練した成果を発揮し、本番は怪我、病気もなく無事にやり遂げました。キャンプでは、竹を材料に立釜戸を作成し食事を作り、風はクラフト作成やレクリエーション、夜は劇の練習や歌の練習と盛り上がりました。最後の夜のキャンプファイヤーでは子ども達が考えたオリジナルストーリーの劇を行い、会場を笑いの渦に巻き込んだのがとても印象に残りました。キャンプ終了後、子どもたちに感想を聞いてみると、きつかったけど楽しかった、もう一泊したいなど笑顔で話してくれました。普段、園の生活ではできない貴重な体験ができ、とても有意義な時間を過ごす事ができました。



チャレンジサマーキャンプ

八月十三日〜十五日までの二泊三日、国立阿蘇青少年交流の家にご招待いただき、『チャレンジサマーキャンプ』に参加させていただきました。三日間の体験の中で、園では体験できないツリーイングや、沢登りなど多くの体験ができ、職員、子どもたち共に良い思い出ができました。自分たちで作ったカレーライスは、とても美味しそうに完食していました。担当してくださった交流の家の職員の方々、ボランティアの方々、三日間ありがとうございました。



子ども達の社会性を育むために…
職場見学・職場体験のご支援を頂いています

(株)丸山ステンレス工業様	(株)美加川製作所様
(株)アルファシステム様	(株)ネクスト様
(株)ニフコ熊本山鹿工場様	(株)西益屋様
(株)フジクラプレジジョン様	山東子ども園様

ご支援に感謝申し上げます